



常盤としまわまえ

一年の終わりに

校長 加藤 真寿美

校庭の木々の葉も紅葉から落ち葉に変わり、歴もいつの間にか「師も走り回るほどの忙しい月」十二月・師走となりました。カレンダーも残すところ一枚となり、令和四年を迎えたときに決意したこと、を改めて思い起こす、そんな気持ちになる今日この頃となりました。

さて、次の詩は、私たち教師の大先輩である東井義雄氏の詩の一首です。

「川は岸のために流れているのではない

川のために岸ができているのである

子どもは教師のために生まれてきたのではない

子どものために教師ができたのだ

子どもひとりひとりの生き方の流れの

美しさたくましさおもしろさを認め

それに沿って指導の岸を構築してくれる教師に

子どもは魅力を感じる」

一年の終わりにあたり、自戒を込め、今までの教師としての私自身を改めて振り返っています。

大人の期待を端的に表す言葉として
「這えば立て 立てば歩めの親心」

があります。子供の成長を心から待ち望む親の心を言う言葉として知られています。しかし、ともすれば、私たち親は、子供の成長を喜ぶ間もなく、次から次へと子供に親の期待を押し付けてしまう傾向はないでしょうか。子供は成長過程であることを忘れずに、一人一人の成長をまず喜ぶこと、そしてその後、次の成長に向けて

周りの大人が丁寧な支援していただくことが大切なのではないでしょうか。

これが、東野氏の言う「川のための岸」なのかもしれません。

この一年、常盤松小学校の子供たちは、どの子も確実に成長してきました。それを認め、喜び、そして、これからのさらなる成長を見守り、期待していきたいでしょう。

○学校評価と成長する学校へ

保護者や地域の皆様に、学校評価アンケートに御協力をいただき、時期となりました。学校評価アンケートは、本年度の本校の教育活動を評価していただき、次年度により良い教育課程を編成するための参考にするものです。保護者・地域・教職員三者で行っています。学校評価を行うことは、次のような意味で重要だと考えています。

一つは、今の学校の姿を客観的に知ることです。保護者や地域の皆様に評価していただくことは、学校の現状を知ることになります。本校の教育活動が子供たちの成長や成果にどのような結び付いているのかを具体的に知ることになります。良い点は引き続き継続し、課題については見直しを図っていく必要があります。結果を基に教職員が話し合

い、成果と課題をしっかりと共有してまいります。

もう一つは、学校と保護者・地域と相互理解を図ることです。保護者や地域の皆様からは、様々な感想や意見、要望があります。それらの意見にしっかりと耳を傾けることが、学校が成長するために大切なことであると考えます。お褒めの言葉やねぎらいの言葉からは、勇気や元気をいただいています。御指摘や御意見・御要望については、真摯に受け止め、改善に結び付くよう努めてまいります。学校評価アンケートを活用し、常盤松小学校が「成長する学校」になるよう、全力を尽くしてまいります。

最後になりましたが、今年一年も保護者の皆様、地域の皆様には、大変お世話になりました。四月から絶え間なくお力添えや励ましをいただき、本当にありがとうございます。深く感謝申し上げます。どうぞよいお年をお迎えください。

十二月二日（金）三日（土）は、音楽会・作品展です。保護者の皆様の御参観を心よりお待ちしております。温かい拍手と声掛けをどうぞよろしく願います。

運動会

十一月五日(土)

今年度の運動会は、二学年ごとの表現や団体競技、徒競走に加え、代表児童による選抜リレーや三年ぶりに行った応援合戦など、盛り沢山の内容となりました。

開会式では、一年生の代表児童による元気いっぱい「児童代表の言葉」に始まり、赤組白組の応援団長が、堂々と誓いの言葉を述べました。今年度のスローガンは、「一人一人が輝き 協力し 勝利をつかみとれ ときわっ子」です。子供たちの競技に取り組む真剣な表情や、「ニコニコ楽しそうに踊る様子」などは、スローガンのとおり、皆輝いていました。

保護者や地域の皆様、温かい拍手や心のこもった応援をありがとうございました。



赤組白組応援団による応援合戦



5・6年生



3・4年生

1・2年生



五・六年 車いすラグビー観戦

十一月十九日(土)

国立代々木競技場に車いすラグビーの日本対オーストラリアの国際試合を観戦にいきました。

会場では事前に撮影した応援映像が流れたり、迫力のあるプレーの数々に驚いたり。パラスポーツの面白さを味わうことができました。

会場でもらった応援グッズを手に日本、オーストラリア関係なく良いプレーには拍手を送り会場を盛り上げました。



■十二月の生活目標■

学校をきれいにしよう

■すこやか目標■

冬を健康に過ごそう

早いもので師走になりました。年末に向けて、大掃除の計画をし始めているご家庭もあるのではないのでしょうか。

本校の教育目標の一つに「働く子」があります。

学校でも、教室やその他の学習で使っている場所をきれいにし、一年のしめくくりの指導をしていきます。子供たちにも、自分の机やロッカー、靴箱など個人の責任できれいにすべき場所があります。掃除の時間に少しずつ片付けていくことができるように、各学級で計画的に指導していきます。冬休み前にはお道具箱等の荷物の持ち帰りをします。学習道具の確認をし、補充をお願いいたします。

また、ご家庭でも、大掃除などのときには、ぜひ子供たちにもできる掃除やお手伝いなどを、させてください。きっと子供たちに「働くこと」に喜びをもたせる、良い機会となることでしょう。

すこやか目標では、感染症対応に加えて、風邪の流行る季節を健康に過ごすことができるよう、目標を設定しました。学校では、子供たちが自分たちで暑さ寒さを感じ取り、また場に合わせて暑さ寒さを予想しながら衣服の調節を心がけられるように指導しています。

なお、休み時間後の上着等の防寒着の落とし物が増えていきます。ぜひ記名にご協力ください。

特別支援教室「ゆずりは」

「話し合い活動」

ゆずりは教室では、友達の意見を聞いたり、自分の意見を伝えたり、折り合いをつける練習として話し合い活動を行っています。

○〈低学年〉「ペア会議」

二人一組のチームを組み、クイズに挑戦。必ず二人で話合って答えを決めます。話型として「**ぼくは、○**

だと思うけど、どう思う？」

「**ぼくも**そう思うよ」

と提示することで、子供たちは話型に沿って自然と自分の意見を伝えながら相手の意見も聞くことができるようになっていきます。

○〈中・高学年〉「順位を当てる」

中・高学年の話し合い活動では、司会を立てます。司会の進め方も①議題について確認②意見を聞く③出た意見に対しての賛成・反対意見を聞く④決まったことを確認」と手順が示されているので、司会になった子も安心して進めることができます。

「順位を当てる」では、ランキングの順位をチームで予想する際に話し合いを行います。意見が分かれた時には、理由を述べたり、意見を譲ったりしながらチームで一つの予想を立てます。

これらの活動を通して、話し合いの仕方を知り、うまくいった経験を積んで学級での話し合い活動にも参加できるようにしています。

